



# X Rモタード用 スーパーマルチLCDメーターキット ( X 2 ステア ) 取扱説明書

商品番号：09-01-0907  
 適応車種およびフレーム番号  
 HONDA  
 XR50 モタード：AD14-1000001～  
 XR100モタード：HD13-1000001～

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ～ 特 徴 ～

純正メーターステー及びフロントウインカーを使用しつつ、スーパーマルチLCDメーターを取り付ける事の出来るキットです。純正ウインカーを使用する事が出来るので、リーズナブルにスーパーマルチLCDメーターを取り付ける事が出来ます。

## ご使用前に必ずお読み下さい

- 本製品はデジタル回路を使用した精密機器です。誤ったご使用は故障の原因になります。  
 必ず本取扱説明書及び、別冊メーター本体取扱説明書の内容をすべてご確認、ご理解の上でご使用、取り付けして下さい。  
 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
 この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。  
 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
 当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。  
 補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。  
 スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、当社製ハイパーC .D .I を除いて他の点火系部品との併用はなさらないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。  
 当キットに付属している温度センサーを使用する場合、下記のアダプターの何れかが別途必要になります。
- ・オイルドレンボルトアダプター (07-04-054)
  - ・オイルクーラーホース用アダプター(ホース内径8mm) (07-04-0521)
- キック始動時の不安定電圧によるメーターの誤作動を防ぐ為、約2000rpm以下では、電源がONにならない仕組みになっています。そのため、エンジンが始動後、メーターの電源がONになるように回転数を上げて下さい。  
 メーター電源が一度ONになったあとは、約8.5Vまで下がってもOFFにはなりません。  
 エンジン回転数が高回転(約11000rpm付近)で、数値に乱れが起こる場合があります。この場合、別売りのハイパーC .D .I (07-02-19) を取り付けますと回転数値が安定します。

## ～ ヘッドランプバルブやテールバルブの球切れにご注意下さい～

XR50 / 100モタードはヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと、消費できない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブやメーターに大きな負担を与えます。バルブ切れの際は、直ちに走行を止めて下さい。  
 ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON / OFFスイッチは、OFFにすると上記同様バルブ切れの状態になりますので、絶対に取り付けしないで下さい。

**⚠ 注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

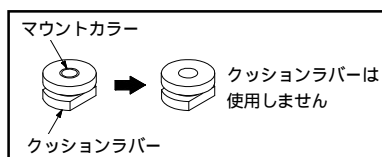
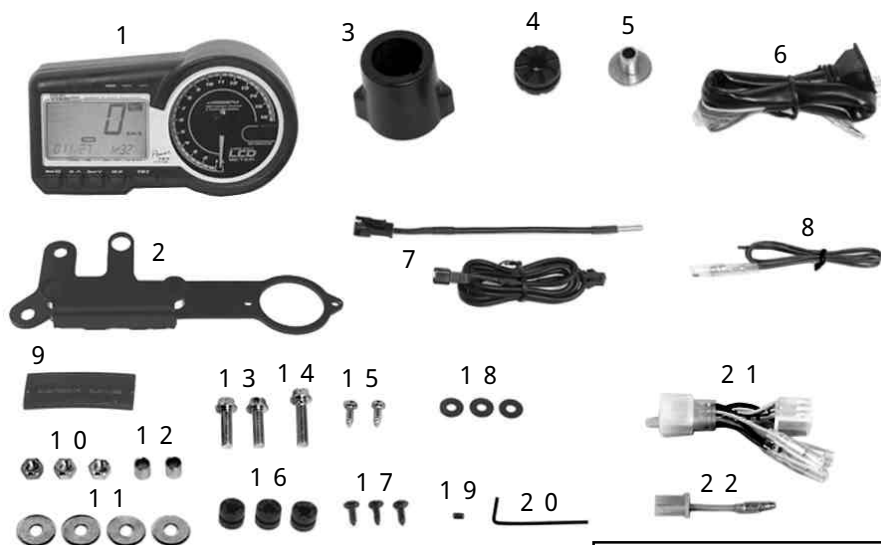
- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
 (法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
 (部品の脱落の原因となります。)

**⚠ 警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
 (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
 (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。  
 クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きまします。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
 この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## ~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	スーパーマルチLCDメーター本体	1	12	カラー	2
2	X2ステー	1	13	フランジボルト 6 x 20	2
3	イグニッションスイッチカバー	1	14	フランジボルト 6 x 25	1
4	クッションラバー-L	1	15	タッピングスクリュー	2
5	クッションカラー	1	16	クッションラバー S	3
6	メーターコード	1	17	タッピングスクリュー (黒色)	3
7	温度センサーセット	1	18	ブレンワッシャー 4mm (黒色)	3
8	ピックアップコード	1	19	六角穴つき止めネジ 3 x 5	1
9	収縮チューブ	1	20	Lレンチ 1.5mm	1
10	六角ナット M6	3	21	メーターサブコード	1
11	ブレンワッシャー	4	22	メーターサブコード 2	1

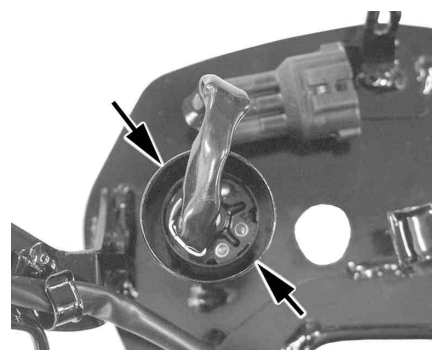
## ~ 取 り 付 け 要 領 ~

### 純正パーツの取り外し

1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます
2. フロントカウル両サイドのスクリーンを取り外し、ヘッドライトやホーンの配線カブラを外し、フロントカウルを車両より取り外します。
3. 純正スピードメーターの配線カブラとスピードメーターケーブルを取り外し、スピードメーター本体を車両より取り外します。
4. ニュートラルランプインジケータのレンズを、キズや破損に注意しながら、こじるようにして取り外します。

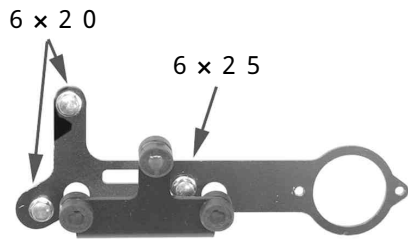


5. ニュートラルランプをラバーごとステー奥に押し込むようにして取り外し、配線カブラを取り外します。
6. メインスイッチの配線カブラを取り外し、車両よりメインスイッチを取り外します。  
写真の矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押す等して、メインスイッチを取り外して下さい。  
(簡単には外れない構造になっています。)  
写真は裏側から撮影した写真です。



## ステーの組立て

1. 本キットのX2ステーにクッションラバーSを3つ取り付けます。
2. フランジボルトをステーに通しておきます。場所により長さが異なるので写真を参照して下さい。



3. 付属のコンビネーションスイッチカバーに、先程取り外した純正メインスイッチを通します。



4. コンビネーションスイッチカバーを通したメインスイッチを、X2ステーに取り付け、タッピングスクリュー2本で固定します。
5. スーパーマルチLCDメーターをステーに取り付け、ワッシャ（黒）を通したタッピングスクリュー（黒）3本で固定します。
6. ステーを表から見て、スイッチカバーの上下が間違っていないか確認しておきます。  
この状態で、2.でステーに通したフランジボルト3本は、まだ固定されていません。後の項目で固定しますので、そのまま次に進みます。

## 車両へスーパーマルチLCDメーターの取り付け

1. 純正ニュートラルランプインジケーターの場所に、キット付属のクッションラバーLをはめ込み、クッションカラーをステー裏側からクッションラバーLに通します。
2. 純正スピードメーターが固定されていたラバー2個それぞれに、カラーをはめ込みます。
3. カラー2ヶ所の上にそれぞれブレンワッシャを1枚ずつ乗せます。



4. 先程組立てたステーとスーパーマルチLCDメーターのセットを車両に取り付けます。

メインスイッチのカプラーは、純正ステーの純正メインスイッチが取り付けられていた穴へ通し、スーパーマルチLCDメーターのメーターコードは、純正スピードメーターのケーブルが通っていた穴へ通し、3.で乗せたブレンワッシャが落ちないように注意しながら、ステーの取り付けボルト3本を通します。



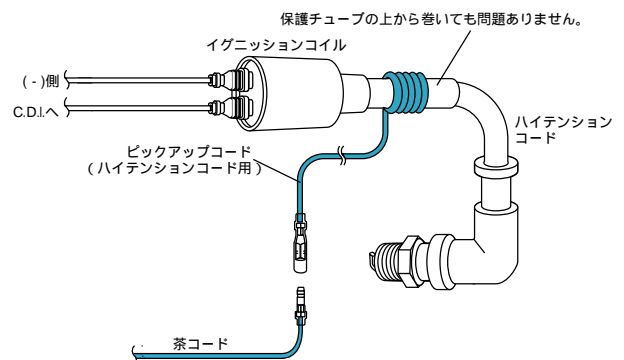
5. ステー裏側からワッシャとナットで固定します。  
純正ニュートラルランプがあった位置のスクリューにはワッシャ無しで、純正スピードメーターが固定されていた位置のスクリュー2本にはブレンワッシャが入ります。



6. 別紙配線図を参照し、車両側ハーネスとハンドルスイッチを接続しているカプラー（黒色・6ピン）を外して、本キットのメーターサブコードを間に取り付け、ニュートラルランプが付いていたカプラー（茶色・2ピン）に、メーターサブコード2を取り付けます。

## スーパーマルチLCDメーターの配線

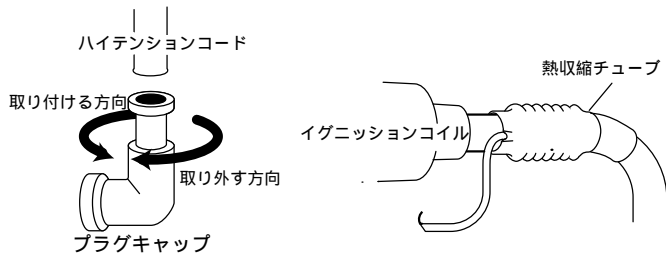
1. ピックアップコード（茶色）を、車両のハイテンションコードのイグニッションコイルに近い位置で約5周巻き付け、絶縁テープ等で緩まないように仮止めして下さい。



2. ハイテンションコードからプラグキャップを外し、絶縁テープで仮止めした部分に収縮チューブを被せるように通し、ドライヤー等でチューブを熱し、収縮させてください。

チューブの収縮温度は約90℃以上で、元の内径の約50%まで収縮します。

警告：タンクにはガソリンがあり、非常に危険ですので、ライター等の火炎を使用してチューブを収縮させる事は絶対に止めて下さい。



3. プラグキャップをハイテンションコードにしっかりと取り付けて下さい。

4. 温度センサーを使用する場合、本キット付属の温度センサーのスティック部分を所定の場所に取り付けて下さい。  
(温度センサーを使用しない場合は、そのまま次へ進んで下さい。)

5. 先程取り付けしたピックアップコード及び温度センサーをヘッドライト付近まで取り回し、たるんだ線は走行に支障がないようにタイラップを用いてフレーム等に固定して下さい。

6. 別紙配線図を参照し、スーパーマルチLCDメーターから出ているメーターコードを接続します。  
間違いの無いように、確実に接続して下さい。

7. スピードメーターケーブルを接続し、ヘッドライトユニットを接続した状態でエンジンを始動し、各ランプの点灯状態とタコメーターの作動確認を行って下さい。

問題が無ければ安全な場所で低速走行を行い、スピードメーターの作動を確認して下さい。

注意：エンジンを回転させる場合は、必ずヘッドライトユニットを接続した状態で行って下さい。

接続しないと過電圧によりLED照明が破損する恐れがあります。

警告：エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。

## カウルの取り付け

1. スーパーマルチLCDメーターの配線が終わったら、外しておいたヘッドライトカウルとホーンの配線を元通り接続します。

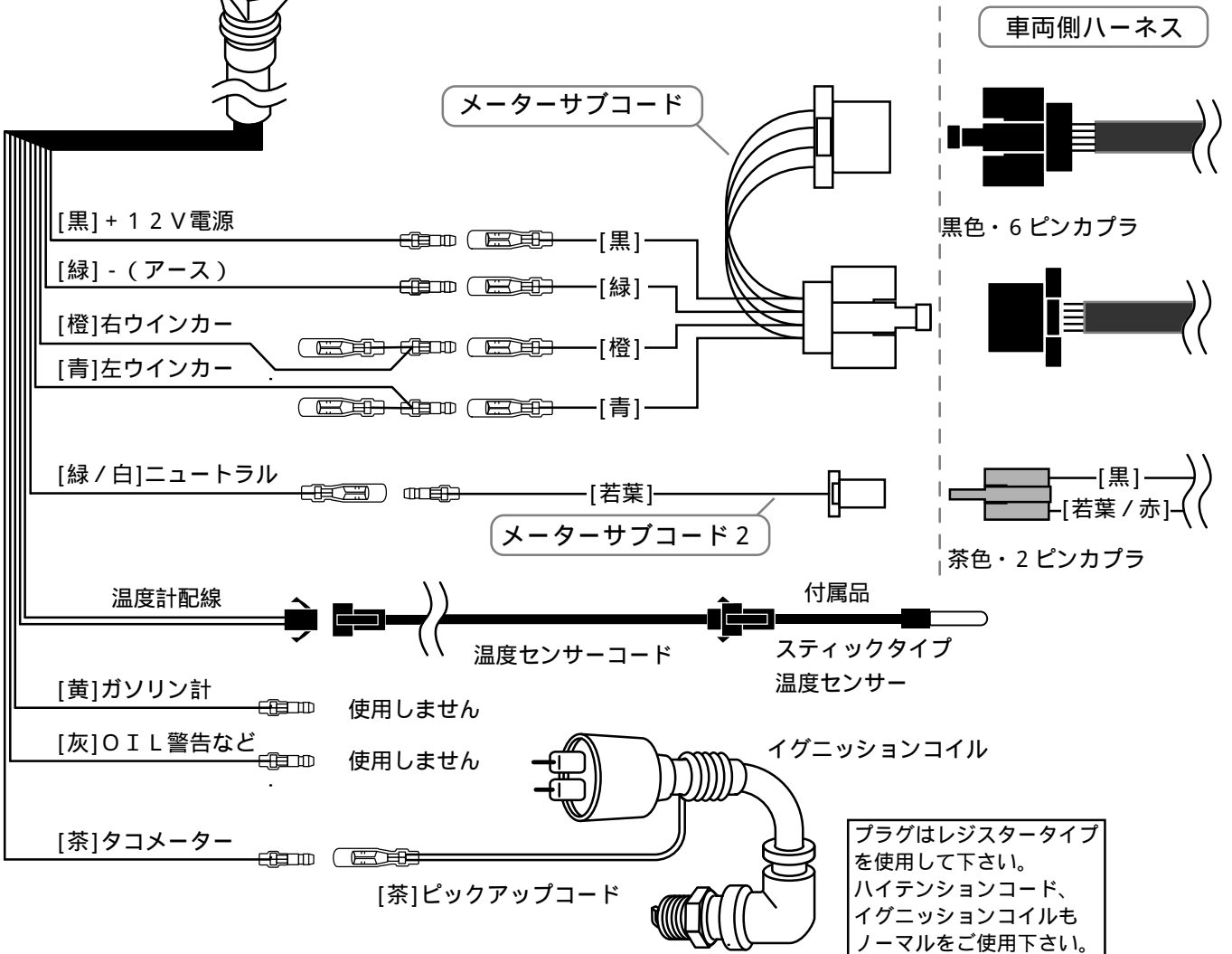
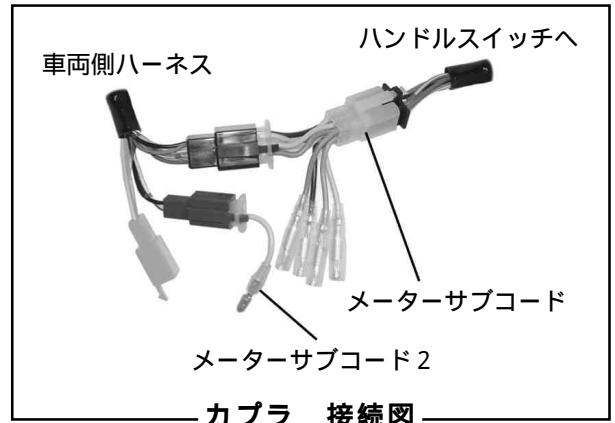
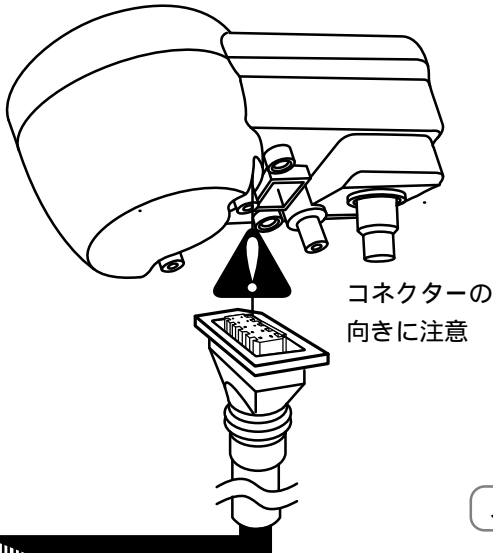
2. ヘッドライトカウルを仮付けし、メーター本体との干渉がないか確認します。干渉がある場合は、メーターを固定しているステーのナットを緩め、メーター位置を調整し、ヘッドライトカウルを元通り取り付けます。

3. 取り外したスクリーン類やハーネス類を確認し、ステアリングを左右に一杯に切ってハーネスの噛み込み等がないか確認して下さい。



4. ヘッドライトや灯火類が確実に付くか確認し、必要に応じてヘッドライトの光軸を調整行って下さい。

～配線図～



スーパーマルチLCDメーター本体に付属してくる取扱説明書の配線接続図も併せてご確認下さい。

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
 URL <http://www.takegawa.co.jp>